

令和7年度 第3回学校運営協議会報告書

令和8年2月26日 13:15～ 領内小学校 低学年図書室にて

1 開会のことば

2 校長あいさつ

3 協議事項

(1) 学校運営の報告について

- ・ 「特色ある学校づくり」の実践報告について（教務）
- ・ 「現職教育」の実践報告について（教務）
- ・ 施設・設備、防災面について（校務）
- ・ 「こんなものあるといいな」の児童アンケート結果からできることと学校支援ボランティアについて（県事務）

(2) 学校評価について（教頭）

保護者対象「教育活動に関するアンケート」（7月・11月に実施）の結果の報告

(3) 学校運営基本方針に基づく来年度の教育活動・地域学校協働活動について（校長）

地域や家庭の願い、職員の願いを生かしたグランドデザインの提案

(4) 学校課題についての情報共有

来年度から「稲沢市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」が実施されるので、業務の3分類を踏まえた業務の見直し・改善を図っていききたい。まずは、地域の方々への理解を深めていく必要がある。その後、通学路点検や下校指導、遅い時間まで運動場で遊んでいる児童への対応など、今後どうしていくべきか考えていく。

4 意見交換（各種活動の活動内容の報告も含む）

- ・ 子どもの自転車事故は、夕方に多い。どう事故を減らしていくかが課題である。領内小学校の子は、ヘルメットをきちんと被っているので、そこは安心である。
- ・ 子どもたちは、学校、地域とみんなで育てていくべき。そのためには、お互い協力し合わないといけない。学校が地域の一員として関わったり、地域が学校現場を知ったりして、理解し合う必要がある。
- ・ 学校現場では、先生方が休憩時間も使って働いていることが多いが、現場にいない人には分からない。先生方の定時以降、地域がサポートするのであれば、機能する仕組みを考えていく必要がある。
- ・ 子どもたちに、人の話を聞く力を身につけさせたい。1年生のうちから、先生の話をきちんと聞ける子に育てたい。また、語彙力をつけ、人に伝わる言葉で、主体的に発信ができるとよい。高学年は、文章力も身につけさせたいので、学校と家庭の両方で取り組ませたい。
- ・ PTA役員は2年やるとよい。1年目で流れが分かり、次年度につながると思う。
- ・ おやじの会、体育振興会としては、学校を開放してもらったり、先生方に協力していただいたりして、感謝している。

5 授業参観

6 その他

- ・ 令和8年度第1回学校運営協議会 5月25日（月） 13:15～
- ・ 令和8年度第2回学校運営協議会 10月22日（木） 13:15～
- ・ 令和8年度第3回学校運営協議会 2月25日（木） 13:15～

7 閉会のことば